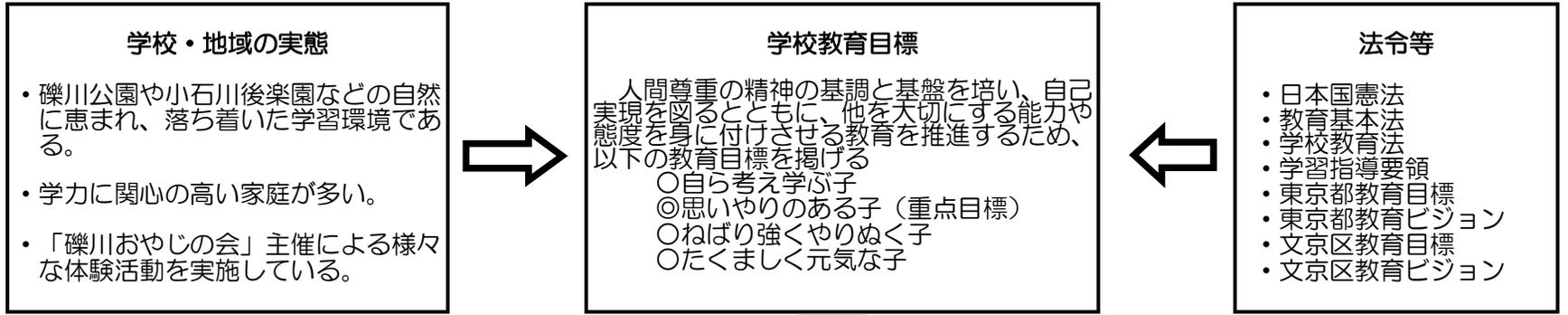


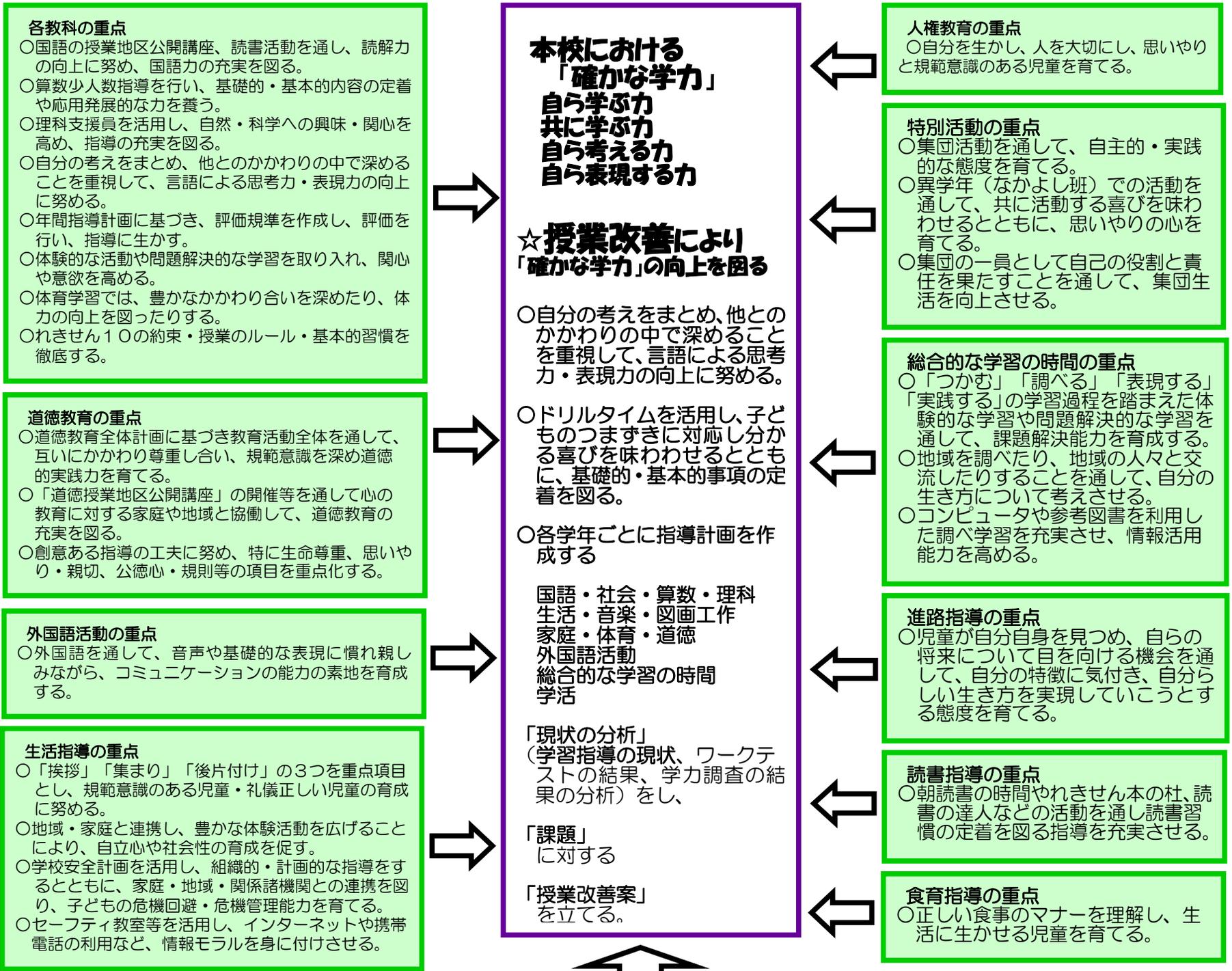
平成28年度 授業改善推進プラン

文京区立礫川小学校



学校経営方針の重点 ○「自ら進んで学び、よく考える子を育てるために」

自ら学ぶ力を育てる問題解決的な学習を授業改善の柱に、少人数など指導形態を工夫し、ユニバーサルデザインの視点で指導の充実を図る。また各教科において、言語活動の充実を図ったり、繰り返し学習したりすることで確かな学力を定着させる。



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・行事や会議の精選などにより、時数を確保し確かな学力の定着を目指す。 ・朝読書や週2回のドリルタイムを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導、繰り返し指導、習熟度別指導、児童の興味関心に応じた課題学習、発展的な学習などを取り入れて指導方法を工夫し、個に応じた指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究では道徳を研究し、授業力を高める。 ・学習過程を工夫する。 ・工夫を引き出す指導。 ・研究授業を中心に児童の変容を検証し、指導力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に準じた適切な評価規準及び評価計画を作成する。 ・意識調査・各学力調査の結果を活用する。 ・振り返りカード等を活用し児童の自己評価の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教育活動を常時公開する。 ・年6回の土曜授業公開や行事参観後のアンケートを活用する。 ・保護者による読み聞かせを実施する。 ・学校運営連絡協議会を年3回開催する。